

# ブリリアントカットチップソー

樹脂が透けるほど“ブリリアント”なカット



アクリルガラスの鋸挽きでは、パネルエッジにししばしナイフマーク、熔融、欠けが生じます。その結果、パネルエッジを接着、光沢研磨、フレイム処理する前に、再加工が必要になることもしばしば。

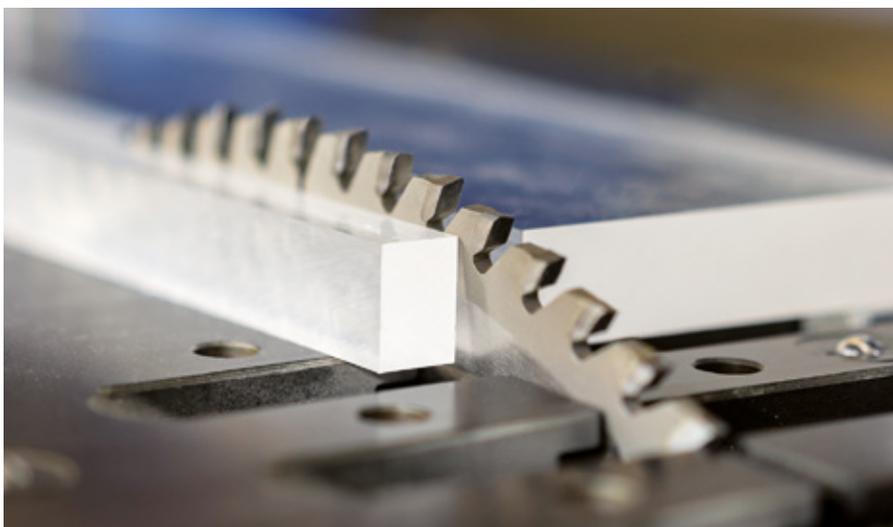
でもブリリアントカットチップソーを使えば、そうした再加工は必要ありません。切り肌にそのまま接着、研磨、フレイム加工が可能です。また、ブリリアントカットチップソーは最大20回も再研磨できるため、加工コストも抑えることができます。

## メリット

- 仕上げカット品質
- 再加工不要
- 長寿命
- 低騒音

## 特長

- 革新的な刃型
- レーザーオーナメント搭載
- 最大20回の再研磨が可能
- 外径303、350、380、400、450mm
- 一般的なパネルサイジングソーおよびサイジングソーに対応
- PMMAおよびPCでの使用推奨（ポリマー結合鋳物材（Corian®、Varicor®、HI-MACS®など）でも優れた切断が可能）
- 在庫から入手可能



-100 %

汎用チップソーに比べ補正  
作業が不要

20 回

再研磨可能

## 導入によるメリット ...



品質

ナイフマーク無しの仕上げカット品質

- 完璧な切り肌、欠けのない切断をもたらす革新的な刃型
- 樹脂充填レーザーオーナメントで滑らかさと安定性が向上、仕上げカット品質を実現
- ポリマー結合鋳物材料 (Corian®, Varicor®, HI-MACS® など) でも優れた切断が可能



効率

再加工が不要

- 切り肌の再加工は不要、コストも時間も削減
- 少ない工程で部品の生産性がアップ



持続可能性

長寿命で静か

- 再研磨は20回可能
- 安定した刃型で長寿命
- 樹脂充填レーザーオーナメント使用で低騒音

ブリリアントカット  
チップソー：  
完璧なまでにクリア

標準的な作業手順



切断 → 再加工 → 研磨

ブリリアントカットを使った作業手順



切断 → 研磨



www.leitz.org

